

**令和2年度埼玉県学校総合体育大会**  
**(高校の部 夏季大会 バドミントン競技)**  
**実施要項**

- 1 主催 埼玉県学校体育協会
- 2 共催 埼玉県教育委員会
- 3 主管 埼玉県高等学校体育連盟
- 4 後援 (公財) 埼玉県スポーツ協会
- 5 期日 令和2年8月11日(火)、12日(水)、13日(木)、14日(金)、15日(土)、16日(日)  
【8月11日】 西部ブロック予選 複1回戦～ベスト4 順位決定  
【8月12日】 北部ブロック予選 複1回戦～ベスト4 順位決定  
【8月13日】 東部ブロック予選 複1回戦～ベスト4 順位決定  
【8月14日】 南部ブロック予選 複1回戦～ベスト4 順位決定  
【8月15日】 決勝トーナメント 複1回戦～決勝  
【8月16日】 決勝トーナメント 単1回戦～決勝
- 6 会場 8月11日・12日・13日・14日 上尾運動公園体育館 【TEL048-771-4245】  
8月15日・16日 毎日興業アリーナ久喜 【TEL0480-21-3611】
- 7 種目 個人対抗(男女各個人戦単・複)
- 8 競技方法 複：地区ブロック予選を行い、決勝トーナメント戦を行う。  
単：決勝トーナメント戦のみ行う。
- 9 競技規則 (1) 令和2年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程による。  
(2) 令和2年度公益財団法人日本バドミントン協会検定・審査合格用器具並びに第1種または第2種検定合格水鳥球を使用する(シャトルは、各校持ち寄りとする)。
- 10 引率・監督 (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。  
(2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員(公立学校の場合は教員)とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。  
(3) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 11 参加資格 (1) 選手は、埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で当該大会実施要項の参加資格を有する者とする。但し、休学中、留学中の生徒を除く。  
(2) 監督・コーチ・選手は、今大会申込締切日までに(公財)日本バドミントン協会会員登録を完了した者とする。  
(3) 年齢は平成13年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

- ア. 単複男女ともに、現在3学年に在籍する者とする。但し、複において3年生が奇数の場合、1年生又は2年生の1名までの出場を認める。
  - イ. 複において、令和元年度新人大会県大会複16位以上入賞者は、複決勝トーナメントからの出場となる。複16位以上入賞者同士の組み換えを認める。但し、パートナーが1年生・2年生の場合、複16位以上入賞者であっても地区ブロック予選からの出場となる。
  - ウ. 単においては、男女ともに令和元年度新人大会県大会単16位以上入賞者で現在3学年に在籍する者のみとする。
- (3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。但し、全日制・定時制I部の混成チームとして認められた競技はこの限りではない。
- (4) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は高体連会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 出場する選手は、あらかじめ健康診断(未実施の場合は保健調査票等による健康状態の確認)を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (6) 参加資格の特例
- ア 上記(1)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断された生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。
  - イ 上記(2)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規程]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、埼玉県高等学校体育連盟会長に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加を認める条件
    - ア 埼玉県高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する特別支援学校・高等専門学校・専修学校及び各種学校にあつては、学齢・修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア 埼玉県高等学校体育大会開催基準要項及び埼玉県高等学校体育連盟対外試合規程を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

11 参加制限

- (1) 単・複とも監督1名とし、複の選手は同一校選手であること。
- (2) 選手の変更はいかなる場合も認めない。

12 申込方法

所定の大会参加申込書に記入・捺印の上、地区ごとに指定された期日までに、指定された申込先へ申し込むこと。申し込みの際には、『大会参加申込書在中』と朱書する。

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

- 13 表彰 優勝者～3位入賞者に賞状を授与する。
- 14 組合せ 埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員の責任において行う。
- 15 試合進行等 地区ブロック予選について
- (1) 各地区長の指示に従って行う。ポイント制限を行うこともある。
  - (2) 各ブロック予選の上位4組が決勝トーナメントに出場する。予選上位4位の順位付けは行う。
- 決勝トーナメントについて
- (1) すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。各ゲームの間に、120秒を超えないインターバルを認める。
  - (2) 同一選手が連続して試合を行なう場合には、前試合が終了後20分間の間隔をおいてから次試合を始める。棄権した者は、それよりあとの他の種目すべてにおいて出場できない。
  - (3) 練習時間については下記のようなことで行なう。  
個人対抗(複) 1～2回戦のみ2分間ずつ行なう。  
個人対抗(単) 1～2回戦のみ2分間ずつ行なう。
- 16 参加上の注意
- (1) 競技中の疾病、傷害などの応急措置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
  - (2) 参加校の選手は、必ず引率責任者によって引率され、また学校は参加選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
  - (3) 生徒の参加については、生徒本人及び保護者の同意を確認すること。
  - (4) 当該校引率責任者は、受付をすること。受付時に選手の健康状態の報告すること。
  - (5) 競技時の服装及びシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。上衣の背中中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。「上段・・学校名(やや大きく)、下段・・都道府県名」判別しにくいものについては、ゼッケンを使用してもらう場合がある。ゼッケンを使用する場合は、白色の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。(ゼッケン使用の場合、文字の色は黒色又は濃紺色とする。)
  - (6) 地区ブロック予選においてのみ、2020年愛媛インターハイ支援Tシャツの着用を認める。その際には必ず背面に校名県名が表示されたゼッケンをつけること。
  - (7) 基本的には敗者審判制で行う。
  - (8) マッチ中の水分補給は、必ず主審の許可を得ること。また、容器は倒れてもこぼれない容器を使用し、主審横の指定した入れ物に入れること。フロー内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止とします。氷嚢はクーラーバックに入れてベンチで保管すること。
  - (9) 別添「新型コロナウイルス感染症対策」の内容を事前に確認し、記載されている注意事項を遵守すること。